令和８年 11 月 12 日
国 税 庁 酒 税 課

令和８年度　酒類業振興支援事業費補助金第５期採択事業者の決定について

令和８年度酒類業振興支援事業費補助金第５期について、本年８月 18 日（火）から 10 月７日（水）までの期間で公募を実施したところ、35 件の応募がありました。

審査の結果、以下の表のとおり 28 件の採択事業者（別紙）を決定しました。

局名	申請件数	採択件数	局名	申請件数	採択件数
札幌	0	0	大阪	6	6
仙台	3	3	広島	3	3
関東信越	5	2	高松	1	1
東京	9	7	福岡	1	1
金沢	1	1	熊本	3	2
名古屋	2	1	沖縄	1	1

別紙

令和８年度　酒類業振興支援事業費補助金第５期採択事業者

１　海外展開支援枠

（ア）日本産酒類の海外展開　(11件)

（イ）酒蔵ツーリズムの推進　(1件)

（ウ）酒類事業者による酒米産地との連携を活かした新たな取組　(0件)

所轄国税局（所）	補助事業者名	事業区分	事業名
仙台	宮泉銘醸株式会社	（ア）	アジア市場ニーズを捉えた高品質日本酒の安定供給・販路拡大
仙台	金水晶酒造株式会社	（ア）	大吟醸クラスの熟成酒オークション販売と欧州富裕層の開拓
関東信越	松岡醸造株式会社	（ア）	海外輸送対応高品質日本酒「天蓋」ブランド化事業
東京	ナーズヴィーノ合同会社	（ア）	地域の米と風土を活かす自然志向日本酒の海外ブランド化事業
東京	チョーヤ梅酒株式会社	（ア）	原料高騰・関税影響下での海外販路再構築とブランド価値向上事業
東京	株式会社THREE	（ア）	高級日本酒WAZUの海外5か国におけるブランド認知獲得事業
東京	なだや株式会社	（ア）	富士山ブランドで挑む海外市場開拓
東京	有限会社小山商店	（ア）	韓国の飲食店向け品質可視化基盤構築とＰＢ日本酒の輸出販路拡大
大阪	株式会社萬乗醸造	（ア）	米国へ向けたラグジュアリー日本酒の市場構築と普及活動
大阪	株式会社Linne	（イ）	酒から地域文化までを総合体験できる新たな酒蔵ツーリズム推進
大阪	辰馬本家酒造株式会社	（ア）	酒蔵ツーリズムを起点とした米国市場開拓・輸出拡大事業
福岡	有限会社ヤマダ	（ア）	女性杜氏が作る日本酒のラスベガス・ハワイ販路開拓

２　新市場開拓支援枠

（エ）商品の差別化による新たなニーズ獲得事業　（6件）

（オ）販売手法の多様化による新たなニーズ獲得事業　（8件）

（カ）ＩＣＴ技術の活用による製造・流通の高度化・効率化事業　（1件）

（キ）酒類事業者による酒米産地との連携を活かした新たな取組　（1件）

所轄国税局（所）	補助事業者名	事業区分	事業名
仙台	株式会社エフライフ	（オ）	出張客を福島地酒のファンに変える、泊まれる酒屋事業
関東信越	渡邉酒造株式会社	（キ）	中山間地での酒米の生産による高付加価値化、テロワール化
東京	有限会社佐瀬酒店	（オ）	顧客体験を重視した教育的体験サービスの構築と新市場開拓
東京	名酒センター株式会社	（オ）	異分野を入口とした新たな日本酒ファン創出モデルの構築
金沢	株式会社小浜酒造	（オ）	若狭暦醸ブランド新市場開拓事業
名古屋	株式会社平田酒造場	（オ）	世界一の長期熟成酒を核とした海外高付加価値化戦略
大阪	株式会社東北わくわくマルシェ	（オ）	顧客データ分析とリアル体験を融合した需要予測型販売確立事業
大阪	三宅酒造株式会社	（エ）	無農薬自社栽培米による循環型清酒製造の創出
大阪	有限会社銭谷小角堂	（エ）	世界遺産に向けた地域産ハーバルラガー開発とDO管理で品質向上
広島	三輪酒造株式会社	（エ）	広島県の柚子を使用した柚子リキュールの開発と新市場開拓事業
広島	有限会社藤田酒店	（エ）	スマホで完結し即日出荷する写真UV印刷ボトルの開発体制構築
広島	株式会社セラアグリパーク	（オ）	自動試飲機とデジタルサイネージを活用した体験型ワイン販売強化
高松	芳水酒造有限会社	（カ）	AI技術を活用した高効率な高付加価値商品製造体制の構築

所轄国税局（所）	補助事業者名	事業区分	事業名
熊本	佐藤焼酎製造場株式会社	（エ）	宮崎の畑から造るSeed to Sipウイスキーの新市場開拓
熊本	合資会社弥生焼酎醸造所	（エ）	高級樽熟成黒糖スピリッツ開発と家飲み需要開拓の多角化展開
沖縄	株式会社OURSONGS	（オ）	音楽連動型酒類体験・販売モデル構築事業